

平成28年12月定例会一般質問表

12月8日、9日、12日

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求める者 |
|-----|--|---|---|
| 1 | 3 番 高 橋 一 郎 議 員 | <p>私は「南陽市に住んでみたい、行ってみたいと思えるような誇りある南陽市」をめざして※ロハスシティー南陽を唱え、一般質問を通し政策的な提案をしています。以下のことについて、市長にお伺いします。</p> <p>※ロハス:Lifestyles of Health and Sustainability 頭文字をとった略語で、健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイル「LOHAS」ロハスのこと。</p> <p>1. 南陽市の将来ビジョン（市制50周年を機に） 来年は本市誕生から50年を迎えます。これからの南陽市をどのように考えておられるのか次の点も含めてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 菊とぶどうといで湯の里について このキャッチフレーズのグレードアップ施策は。</p> <p>① 菊について</p> <p>② ぶどうについて</p> <p>③ いで湯について</p> <p>(2) ボランティアで支える福祉のまちづくり</p> <p>(3) 再生可能エネルギー発電</p> <p>① 小水力発電の推進</p> <p>2. 市制50周年記念事業 どのような企画を考えておられるのか次の点も含めてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 50歳を迎える市民の参加</p> <p>① 記念事業の企画の中で、50歳を迎える昭和42年度生まれの市民や本市出身者が参加して、南陽市の未来を語るシンポジウムなどを開催することはいかがか。</p> | <p>市 長 教 育 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 教 育 長 関 係 課 長</p> |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|--------------------------------------|---|-------------------------|
| 1 | 3 番 高 橋 一 郎 議 員 | <p>3. 戦略的スポーツ・文化振興 スポーツ振興については、9月定例会で質問しましたが以下のことについて、市長のお考えをお伺いします。</p> <p>(1) 2020東京オリンピック・パラリンピックでのキャンプ地誘致</p> <p>① スカイスports(バリアフリー)種目のキャンプ地誘致</p> <p>(2) スポーツ・文化を通じた観光とのコラボ(縁結び)</p> <p>① 高速交通網完成後のスポーツ・文化の拠点づくり</p> <p>ア ハード事業 ・民間資本活用による方法</p> <p>イ ソフト事業 ・スポーツツーリズムやユメ先生などの活用によるスポーツ教育</p> | 市 長 教 育 長 関 係 課 長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求める者 |
|-----|--------------------------------------|--|---------------|
| 2 | 4 番 船 山 利 美 議 員 | <p>1. 地域活性化と物産販売拠点の整備について</p> <p>(1) 地域活性化は「人が集まり賑わうまちづくり」として市長も常々言われており、市政運営の基本方針でも文化会館を核として取り組んでいくと述べられている。文化会館のみならず本市の観光・文化・特産物など様々な分野の活用も、交流人口拡大や活力あるまちづくりの構築には肝要だと思う。一方、市長は選挙公約に「東北中央道の南陽インターに観光の駅を。」「インターに観光客誘導の入り口の物産販売拠点を。」と示されている。昨年12月議会の一般質問の答弁でも「引き続き関係機関への働きかけと検討を行う」「熱意を持ってしっかりと実現していきたい」としている。</p> <p>また、置賜地域の道路交通網整備が進む中、近隣市町は追随するように様々な形で物産販売拠点整備が進められており、本市は1歩出遅れている感じも否めない。それらを踏まえて質問する。</p> <p>① 「人が集まり賑わうまちづくり」について、文化会館を核とした交流人口の拡大と本市の観光資源・商工産品・農産物など、産業・経済が結び付く基盤となるような取組みは図られているのか。</p> <p>② 交流人口の拡大による産業・経済の活性化を図る上で、滞在型の誘客を図ることも必要と思うが、多様なニーズに対応できる具体的な方策など考えておられるのか。</p> <p>③ 物産販売拠点の整備について、昨年の答弁に「近隣自治体の首長と話す機会があり、そういう機会を捉えて話をし取組んでいく」と言っておられるが、どの程度進展しているのか。</p> <p>④ 物産販売拠点施設の今後の取り組みとして具体的な検討はなされているのか。</p> | 市 長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|--|---|------------------|
| 2 | 4 番 船 山 利 美 議 員 | <p>2. 施政方針の基本姿勢として示された「身の丈に合った対話のある市政」について</p> <p>(1) 市長公約のスローガンでもある対話は「市長とみらいトーク」として、開催地区を広げ、より集まり易く話しやすい雰囲気は、大変有意義に感じられた。一方で身の丈の市政とはどういう意味なのか、と言った声があるのも事実で、柱の一つでもある財政健全化については、平成27年度決算が市報で公表され「黒字決算」の文字が大きく載っている。「黒字」というのは耳触りが良いが、一部事業量の縮小や市からの補助金・助成金の減少など、市民への負担も少なからず含まれていると推察される。</p> <p>また、子育て支援や3人っ子政策も柱の一つで期待するところだが、更に幅広く推進していくことも必要ではないかと思う。</p> <p>① 「市長とみらいトーク」は市民の声に耳を傾ける「対話のある市政」として、重要な施策の一つに位置づけられていると思うが、今後、様々な方面の対話の受け入れや実践を遂行するための窓口となる専門の部署を新設してはどうか。</p> <p>② 身の丈の市政による財政健全化優先の偏重で、行政サービスの低下や延いては地域経済の減速に繋がるような懸念はないのか。</p> <p>③ 3人っ子政策の効果も期待するところだが、第3子以降だけでなく子育て全体の経済的負担の軽減には、第1子・2子を含めた更なる支援も必要と思うがどうか。</p> <p>以上見解を伺う。</p> | 市 長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|--------------------------------------|---|------------------|
| 3 | 1 番 山 口 裕 昭 議 員 | <p>1. 本市のバリアフリーへの取り組みについて</p> <p>(1) 高齢者・障がい者の方に対する市民サービスの向上 現在、日本国内では急速な少子高齢化が進んでおりますが、この主たる要因としては、出生率の低下と平均寿命の延びが挙げられるところです。平均寿命の延びに関しては、昨今の目覚ましい医療技術の進歩により以前であれば手の施しようも無く死を迎えていた方々が、より多くの命を繋ぐことが可能になったことが大きいと考えられます。</p> <p>しかし、その代償として何らかの障がいを持つことになってしまう事例も数多くあり、その結果として車いすでの生活を送られている方々は昭和45年当時と比較して平成18年までで100万人程度増加しています。</p> <p>その一方、障がいをお持ちの方々は健常者と比べて申請や証明書の取得のために市役所などの公共施設を訪れる機会が格段に多く、公共の施設はそのニーズに耐えられるものである必要があると考えます。</p> <p>そこで、まず本市の公共施設に関するバリアフリー化の状況について何点か質問させていただきます。</p> <p>① 市の管理する公共施設ではどれだけの施設にスロープが設置されており、そのうちどれだけの施設でバリアフリー新法に則った、屋外1/15・屋内1/12の勾配を準拠しているのか。</p> <p>② バリアフリー新法では「駐車場あたり1台以上の身障者駐車帯を建物の近くに設置」とされていますが、市内公共施設の駐車場ではどの程度準拠されているのか。</p> <p>③ 市の公共施設への多目的トイレの普及状況はどの程度か。</p> <p>④ 今後、公共施設のバリアフリーについて計画的な改修を行う予定はあるか。</p> | 市 長 関係課長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求める者 |
|-----|--------------------------------------|--|---------------|
| 3 | 1 番 山 口 裕 昭 議 員 | <p>(2) バリアフリー観光への取り組みについて</p> <p>現在、日本国内には障がいをお持ちの方が788万人おり、その中でも車いすを利用されている方は200万人にのぼります。</p> <p>200万人と言えば、山形県の総人口約111万人に和歌山県の総人口約96万人を加えた人数とほぼ匹敵する人数であり、全国の佐藤姓を持つ方々の人数約189万人を上回る膨大な人数になります。</p> <p>また、この200万人には高齢による足腰の衰えなどを理由に車いすを利用されている方々の人数を含んでいないため、実際には車いすを利用している方々の総人口は200万人を大きく超えることとなります。</p> <p>人口減少社会の中で、これほど大きなニーズが殆ど手つかずの状態になっているわけで、この広大なブルーオーシャンを、今後の南陽市観光のマーケティング・ターゲットとすることが必要ではないかと考えます。</p> <p>しかし、現状を見ると本市の観光に対するバリアフリー化は進んでいるとは決して言えない状況となっており、今後一層の対策が必要であると考えているところであります。</p> <p>そこで、本市のバリアフリー観光に関する取り組みについて何点かお伺いいたします。</p> <p>① 現在、南陽市役所のホームページ、及び観光協会のホームページには市内の宿泊施設、飲食店などや観光施設等に対するバリアフリー対応状況の情報が全く見当たりませんが、今後順次対応する予定はあるのか。</p> <p>② 市内の公共的な温泉施設、特に比較的新しい施設であるハイジアパークや赤湯元湯にはスロープやエレベーターなどが設置されており、脱衣所までは車いすでも移動が可能なのですが、浴室はそれに対応していないようです。歩行困難者が浴室内の移動を容易にするものとして浴室専用車いす（シャワーキャリー）があるわけですが、現在南陽市ではそれを備えている施設はあるのか。また、今後の導入予定があればお聞かせください。</p> | 市 長 関係課長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|--|---|------------------|
| 3 | 1 番 山 口 裕 昭 議 員 | ③ 現在、南陽市内には民間でバリアフリー観光を推進するために広範囲で活動されている方がおられます。市としてそういった方を招聘して今後の観光戦略を練っていく考えはあるのか。 | 市 長 関係課長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|---|--|--|
| 4 | 2 番 島 津 善 衛 門 議 員 | <p>(2) 空き家問題への今後の取り組み</p> <p>① 特定空家の対策</p> <p>② 特定空家以外の空き家対策</p> <p>3. 昼夜間人口比率の改善 市長の掲げる3人っ子政策を推進する上での大きな要素が雇用です。この雇用の充実を図る市にとって、大事な指標の1つが昼夜間人口比率です。 夜間の人口と昼の人口の割合を示しますが、22年の国勢調査では、93.7%です。どのようにお考えかお聞かせ下さい。</p> <p>4. 地方公会計の進捗状況 総務省は、人口減少・少子高齢化が進展している中、財政のマネジメント強化のため、地方公共団体の限られた財源を「賢く使う」取り組みを行うことは極めて重要であるとの考えで、地方公会計を予算編成等に活用させる方針です。特に、公共施設等の老朽化対策にも活用可能である固定資産台帳は、早期に整備することが望まれています。 次の2点を伺います。</p> <p>① 平成27年1月23日の要請から3ヶ年での移行を目標としておりますが、当市の進捗状況</p> <p>② 推進するための支援策の利用状況</p> | <p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p> |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|---------------------------------|---|--|
| 6 | 9 番 川 合 猛 議 員 | <p>1. 産業のまちづくりについて</p> <p>(1) 梨郷工業団地について、売買も含め現在どのようになっていますか。お伺いします。</p> <p>(2) 少子化対策としても、企業に来ていただき、若い人の雇用、そして定住して結婚していただくことが大事だと思いますが、今後新しい工業団地の造成の計画は。また企業誘致について現在どのように活動されておりますか。また今後の目標はどうされるのかお伺いします。</p> <p>2. 第104回菊まつりについて</p> <p>(1) 第102回、103回と菊人形の場面は6景ありました。それでも場面をもっと増やして欲しいとアンケートにありました。それにもかかわらず、今回いきなり1景になりました。多くのお客様が菊花と共に菊人形を観るのを楽しみに待っていたと思いますが、なぜ1景となったのかお伺いします。</p> <p>(2) 前回よりも大幅に入場者が増えたということですが、正確な人数は。また当初予算で1500万円計上していましたが収支決算は。協賛金の額はいくら集まったのかお伺いします。</p> <p>(3) 105回開催に向けて、人形の場面数は。入場料は。また開催場所はどのように実施するのかお伺いします。</p> <p>3. 市の教育について</p> <p>(1) 現在の市内小中学校の不登校と長期欠席の児童、生徒の人数をお伺いします。</p> <p>(2) 不登校対策支援事業について（こちらが相談窓口かと思いますが）、何件位の来室相談、または電話相談がありましたか。その中でいじめに関する相談はありましたか。お伺いします。</p> <p>(3) 横浜市で福島県からの避難者の子供さんがいじめられていたという事件がありました。本当に許しがたいことであります。現在市内には何人の小中学生の避難者がおりますか。お伺いします。</p> | <p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p> <p>教 育 長 関 係 課 長</p> |